

令和3年度 まちづくりトーク 主な意見

開催日： 11月24日(水)

会場： みわ文化センター

1. 地域の防災

項目	参加者の発言	市の発言
防災活動について	<ul style="list-style-type: none"> ・三和町は分水嶺に位置する町であり、河川の出水も早い引くのも早い。しかし、川幅が狭いので、小規模ながら水路や護岸が壊れる。土質は粘土質のため土砂崩れはあまりないことから、住民の災害に対する意識が低いと感じる。今後の取組として、浸水地域のハザードマップを利用して地域の防災に役立てていきたい。 ・防災士は消防団員でもあったりと、災害時の運用に課題がある。 ・防災マニュアルは会議を重ねて作成している。自主防災会は、自治会単位で15あり、要支援者などの避難については、全員が安全なうちに避難できるよう呼びかけをしている。また、独自の避難方法を決めている地区もある。 ・消防団の待遇について、全国的に見ても報酬が低いのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各地域の実情に即した自主防災組織の取組が大事と考えている。 ・三和町では一部地域で既に要支援者の取組を行っておられるようなので、今後の運用について個別に相談したい。 ・消防団員の報酬についてはいろいろと議論のあるところだが、現在の三次市の消防団員報酬については、合併協議会において決定されたものである。現状、市の消防団員報酬の総額は国の財政措置だけでは足りず、地方交付税に上乗せして予算を確保している。報酬の見直しについては、過去の経緯や近隣市町との関係、実効性のある財政措置などを総合的に勘案しながら検討をしていく。また、現在は分団に報酬をお渡しし、分団から各個人へ渡していただいているが、直接個人へ支給することを検討している。 ・消防団員の皆様には、日頃から水防や、消防活動などに精力的に取り組んでいただいている。今後も、できる限りの対応を検討していきたい。
避難所について	<ul style="list-style-type: none"> ・7月1日に補助避難所の設営訓練をしたが、中学校の体育館は設営前に掃除をしないといけないなど、避難所としては良くないと感じた。 ・体育館の掃除は中学校がするしか、現在のところ方法がないと思うが、業務外のことであり、強いることができない。緊急避難をする場合には、仕方がないと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大雨の避難は、事前にある程度予期できるが、地震は突発的なので予期することができない。災害でも違いがある。地震災害については、より一層個人の防災意識を高めなければならない。市街地も周辺も、「自分の命は自分で守る」という意識を持ってほしい。地道な活動を積み重ねて、防災意識を高めていくなか。 ・昭和47年水害から半世紀となる。避難訓練を重ねることで課題がでてくる。その都度、検証もしている。 ・来年は、市民の皆さんに参加していただくような防災訓練をしていきたい。各自主防災組織でも避難訓練などをいただいている。市(危機管理課)が持っている機材(VR)で災害の疑似体験をすることができるので、ご活用いただきたい。ほかの地域の自主防災活動の取組についても、情報提供をすることができる。参考になる取組もあるので、ご協力させていただく。

2. 持続可能なまちづくりについてなど

項目	参加者の発言	市の発言
小学校・中学校の統合について	<p>小学校や中学校の統合について聞いている。統合した場合、子育てする場所が遠くなるので、人が来なくなると思う。統合は経済合理性の議論の観点からはありうるかもしれないが、子育てについては、まちづくりの根幹にかかわることから危惧している。</p>	<p>小学校の統廃合については、各地域でも同様に心配されている。地域の維持のため、学校が重要視されていることも認識している。教育の在り方(現在の状況、今後の見通し)について、子どもたちにはどのような教育環境や体制がいいのか、地元と話をしなければならない時期だと思っている。統廃合の基準については、現在教育委員会で方針を作成している。方針が出来次第、議会や地域へ説明をさせていただく。統廃合が前提ではなく、指針に基づいて協議を進めているということをご理解いただきたい。</p>
助成について	<ul style="list-style-type: none"> ・脱炭素化の取組を、三次市が先進的にやってほしい。例えば農林業関係で使用するチェンソー・刈払機などを化石燃料の製品から、リチウム電池などのバッテリー製品に買い換えた場合に、市の助成があれば、交換するきっかけとなるのではないかと。市で交換を促進していただきたい。 ・単市補助事業として、ほ場整備事業(小規模農業用施設等改良事業)を土地改良区に委託されているが、現行では三次市指定業者による工事を対象としており、個人単独で工事をする場合は補助がない。個人で工事を行う場合でも補助できないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化の対策については、独自の取組も大事ではあるが、一人ひとりが日常生活の中で気をつけ、これは三次市だけではなく、地球全体として取り組まなければならない。行政が中心となり、発信をしていかなければならないと思う。 ・地域課題や特徴があり、その特徴を磨き上げ、地域づくりにつなげていくことが重要である。農業の法人化も先進的に取り組まれていて、強みになる。課題を共有させていただいたので、今後一緒に、地域づくりに取り組んでいく。三和町では今年度中に第3次まちづくりビジョンを完成予定となっている。理念は「安全で安心して住み続けられる地域づくり」なので、まちづくりビジョンをしっかりと作り上げ実行していくことが将来につながるようになるのではないか。 ・ほ場整備事業(小規模農業用施設等改良事業)に関することは、一つの考え方であると思う。研究の余地がある。

令和3年度 まちづくりトーク 主な意見

開催日： 11月24日(水)

会 場： みわ文化センター

項目	参加者の発言	市の発言
ひろしま森づくり事業について	森林の荒廃が進み、森林整備をするため「ひろしまの森づくり事業」という制度を利用するために市へ相談したが、整備したい土地の地目が「山林」ではないので申請できないと言われた。地目を確認したら、「山林」「宅地」「雑種地」など複数の地目だった。登記上の地目に関係なく、現況主義で制度が利用できるようにしてほしい。	-